夕刊
磐城新聞
十一月十二日發行
發行所　磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

本紙を中心とする若き文學愛好家に……

島田忠夫

○

本紙『磐城新聞』に、私が執筆を始めてから既に數年になり、執筆を始めし頃より見れば、本紙に文章を載せる人、歌を寄せる人、詩をかく人、實に大きな進歩を來したことは、ひとり私が茲に力説するまでもない

○

歌壇は中に最も目ざましく、思へば磐城歌壇は、故人山村暮鳥先生、柿沼一紅氏あたりから、この方の老匠高久晩霞先生を宗として生れだやうなもの。近年、『潮音』の同人小山田滋氏が參つて、磐城歌人も中央に作品を送る者あらはれ、最近逝いた秋間小路氏など、とにかく地方に出色した歌人としての業蹟を殘した

新妻氏が『磐城歌壇』を持ち、ここにも新進は生れつゝある。歌壇は最も本紙を中心として發達の著しきもの、これ思へば長年に亙つて斯道に盡すゐせられし高久晩霞先生の功蹟なりと云ふも、必ずしも過言ではあるまい

○

詩壇の方に、草野心平氏の如き詩人を出してゐる以上、決して歌壇に劣るとは思へぬが、中野勇雄、石川武夫氏等歿したるは最も寂しく、若き人々の中央雑誌に投ずるは極めて尠い

○

私は、それ故に、若き詩人に告ぐ。これから詩をつくり、童謡を作る人のため私は正月號から『むらさき』の小曲の選、『蠟人形』の童謡の選『短歌精神』の歌の選、その他をするのであるが、これらの雑誌に、本紙を中心とする若き人々の投稿をおすゝめ致し度い

○

私は、平町の風土を知り人情を知つてゐる。それ故小曲、童謡、短歌の選にも平町人の新進を待望し、特にそのために力を致したい念のため、原稿の送り先を記せば

○東京市、淀橋區柏木三ノ三三七西條方
蠟人形社

○東京、神田區神保町二
巖松堂內
むらさき發行所

○東京、神田スルガ台下
富山房內、岡松氣付
短歌精神詩房

○

私は、平町の人、またはその周圍の人、本紙の讀者から、童謡詩人、詩人、歌人の輩出を望むゆえに、こんなことを書くに過ぎぬ。他意はない。諒して投稿せられんことを希ふ

た里

秋志情

色はほんのり
ヨー花盛り
山で岩菊
村ではお里

お里見よとて
土堤道行けば
いやと茨に
ヨーとめられた

山で岩菊
村ではお里
ほんにきれいと
ヨーはめてゐる

潮聲硯靜抄帳

○秋の地象

夕花野飛び來る鳥を見失ふ　松堂
白らけたる磧となりぬ出水跡　松堂
落し水一ど東刈つてもごりけり　郡平
照らす日に立つ地煙りや豊の秋　素秋
夜學子にとなりのラヂオ煩はし　武門
栗拾ふ曉の山妖氣充てり

その日〳〵

○

早くも白雪のおとづれ──。煌々たる月光にゆふべの阿武隈連峯は白く輝いてゐた

11月13日

△和田義盛の餘黨滅ぶ(建保元)△スチヴンソン生る(一、八五〇)△陸軍特別大演習終了△滿洲國政府で石油人類專賣法公布△ベルギー內閣辭職(昭和九)

『あッ』

『ウム』

陰陽五行論

(6)

鵜沼孝昌

現代の數學と物理學とが離るべからざる關係にあるが如く、洪範(五行)・易・の間に離るべからざる關係ありて、恰も、自然の理法と人事界の理法と同一のものである。即ち天体の現象が人事に影響する事は現代の科學から見ても合理的である。如此、應用的方面の展開するに先ちて、必ず純粋なる哲學的又は物理學的の研究が成立して居なければならぬ、五行は純粋なる哲學、物理學方面に基本を[illegible]た學問である、然るに易は主として、修身、政治に應用した方面を述べて居る樣である

陰陽五行學は支那古代哲學の主體である、それは太古に發生して近代に迄、其の勢力を持續して居るのである。而して東洋に於けるあらゆる諸學はこの陰陽思想の派生して原理となれるもので、又東洋文化の根源をなすものである、然るに近代の論者はこの解釋を以て一種の奇蹟となし、支那古代に起つた、牽强附會の說として否定するが、それに餘りに現實と齟齬する議論にして、喰はず嫌ひの傾きがある、甘いとか、辛いとかは食つて見て初めて分るのである。即ち認織と對象との一致なんて實踐にかけて見れば何んでもない、要するに徒に否定するより現實に直面するのが何よりの教訓である、自分はこの學を十有餘年間實地に適用して其の深遠なる原理に驚異を以て迎へるものである

（完）

講談

黄金魔刃

高桑義生作
樋口悦也畫

(2)

夜光の土圭（二）

霧はいたづらものだ

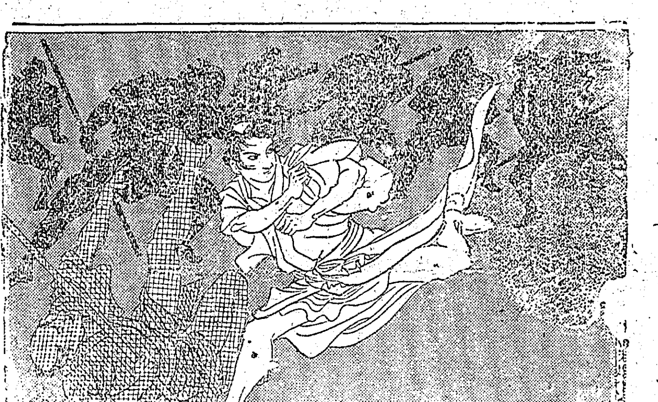
物見臺には、終夜見張番士が詰めてゐる。其物見窓は一目に見わたしのきく場所で萬一にも脫獄人を見のがしッこはないのだが今夜は役にたゝなかつた。破ろうと知つて逸早く門外にまはつた者も、東側の石垣から飛び下りたと知つて驅けつけたのちや遲い。いつまでも誰がぐづ〳〵してゐるものか

ところで、逃げたのは八號囚人一名だけと云つたのに、意外にもその隣りの九號囚人部屋の扉が開いてゐて、その囚人も逃走した事が、まもなくわかつた。さいぜん番士が見廻つた時はたしかに閉いてはいなかつたのだが──

いよ〳〵重大事だ。ろう役人は周章狼狽しながら、八方に手わけして、捜索を開始した。一方、立山西の兩奉行所、代官所に急を知らせた

その時分、霧の街を泳ぐやうに走つてゐる寛之助、先刻東側の石ガキを飛び越ねた者で、例の八號囚人だ

彼は向うが海だと知つてはじめて方角違ひをした事に氣がついた。それも霧のせいだ。で、しまつたと思つたが、どうにも仕方かない。寛之助は右にまがつたと、ゆだんもあつたか、恐ろしい勢ひでぶつかつた。



目から火が出た。寛之助はやつと踏みこたへたが、そして我にかへつた時にはぶつかつた相手は早くも霧の中

寛之助、啞然として見送つた

『なあんだ、ばかにしてゐやがらあ』

それどころではなかつた忽ち人の足音がして、影繪のやうな人間が六つ、七つ──眼の前に迫つた。追つ手にろう役人か。そうではなかつた。彼等は町の者だが、手に手に棒を持つてゐた。そしていきなり寛之助に打つてかゝつた

『曲者ッ』

『おやッ』

といつて、寛之助は棒をかはした

『曲者ちやねえ』

『どろぼうッ』

『どろぼだッて、俺は盜みをした覺ねがねえ。人間違ひだ』

『うぬ、畜生ッ、ぶちのめせ』

『人違ひだ。曲者は向ふへ行つた。人違ひだ、人違ひだ』

寛之助は叫びつゞける、たしかに今ぶつかつた人間と間違はれたのだと思つたが、先方は耳にも入れない懸命に打つてかゝる

これはいけないと氣がついた時、もはや前後左右は人のかたまりだ。其中には武士らしい姿も見える。なまじ誤解をとかうとしたのが、此方の不覺、今まで相手になつてゐたのがいけなかつた。これは容易ならぬ事になつた

『しまつた!』

多分寛之助の血相は變つたらう。彼は飛んで來る棒をかはし、飛鳥のやうにつけ入つた。そして敵の棒を奪つて、それで最前線に迫つた奴等をバラ〳〵となぎ倒した。それから一方の血路をひらくために、鐵砲玉のやうに彼等のまん中に突入した。その勢ひに棒と人間のかたまりは、瓜でもわつたやうに二つにわれた

寛之助はそれをつき通して、そこで全速力で驅け出さうとした時、ビユウッとうなりをたてゝ背後に棒が飛んで來た。寛之助はそれをかわしたとおもつたが、バッタリ倒れた。棒のために足をさらはれたのだつた

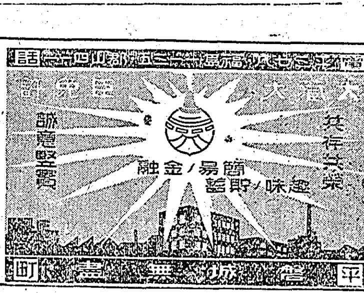
耳鼻咽喉科專門
平町田町（電六九一）
病室完備
自炊ノ便アリ
醫學士　山內亨吉
山內醫院

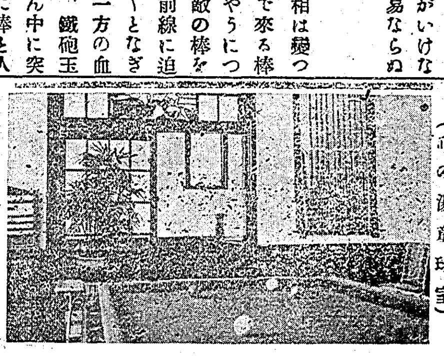
內外建築材
建具材
入阿部材木店
磐城國平町（公園下）
阿部好利　改メ（登）
電話四九四番

前田醫院

新田町
榮ちやんのしろうど料理
天下一品不味い
榮ちやんのおでん

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店　桑原商店
『取次販賣店ニ應ズ』


共存共榮
誠意堅實
簡易ノ金融
趣味ノ質鋪


（瀧の湯　撞球室）

秋色の小瀧へ!!!
□宿泊料　1.50　2.00　2.50
（御滯在は上記料金にて中食料を含ませます）
□日歸浴席料　.20
□自炊料　.50─.80（入湯料・室料・夜具料一切）
□料理一定食　.80　1.00　1.50
（その他一品料理・洋食）
□湯　効　神經痛・リウマチス・胃腸病・痔疾 婦人病・逆上・中風・脂肪病
（內務省東京衞生試驗所檢定）
□諸設備　どうきゆう室・高級ラヂオ・大廣間・讀書室 近代的浴場と洗面所・水洗式便所 小動物園・御子樣運動器具
□名　物　川魚料理（うなぎ・鯉）蜂蜜羊かん・いちご羊かん
常磐線湯本驛下車・小瀧鑛泉
御旅館 御自炊　瀧の湯
（電話小名濱103番）

冬の通學服賣出

中等生用

國防色	6號	4.00	
	7號	4.20	
黑小倉	特A6號	3.80	ヨリ
	A 6號	3.50	ヨリ
	B 6號	2.00	ヨリ
別注文	國防色	5.50	均一
	黑小倉	6.20	均一

ふかや洋服店　平三 電203

◉おいしい事は日本一
◉安い事。日本一
榮養美味……平ケーキ……
榮養增進の爲めに……
御家庭のお八ツに……
お子樣の間食に……
御訪問の御土産に……
祝儀不祝儀の引菓子に……
◎衞生的にも日本一!!
多小に不拘電話を御利用下さい。
磐城平町二丁目
日進堂本店
電話六三五番

秋の旅行に
素晴しい乘心地の!
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申します。
平 二
三井タクシー
電話六八五番

耳鼻咽喉科專門
平町南町一六番地
（入院隨意 病室完備）
大和田醫院
電一七〇番

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

耳鼻咽喉科專門
（入院應需 自炊ノ便アリ）
高柳醫院
平驛前（電三三六）
醫學博士 高柳博明

每度有難う存じます
レストラント
平富鋪

高久病院（電話五三一番）
平町田町
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

9ミリ半
ポニイ
活動撮影機 ¥18.00
活動映寫機 ¥17.00
西村屋藥舖
平二・電三

類燒
改築三週年記念
スポーツに紅葉狩りに秋冷快適の折からハイキング、ピクニック等の砌是非御立寄を御願致します。
因みに價格は左の割引を以て御客樣の御愛顧に酬ひんとする弊店の意の在る所を御酌取り下さい。
ヒレナベ（御一人前）四十五錢ヲ四十錢
ロースナベ（同）三十五錢ヲ三十錢
平町田町
石川亭
電話四三番

鐵道以外は依然增送

各方面の活況を物語る

最近の石炭消費振り

鐵道以外の各方面に對する供給量が前年に比し依然增加の一途を辿りつゝあるは地方炭界近來の趨勢なる事既報の通りであるが、去る一日以降十日迄の常磐炭山元發送旬報（常磐石炭鑛業會發表）によると

營業用三九八車 四、七二九瓲 省用一、四六九車 一九、二八六瓲 合計六、一八二車 七四、六〇九瓲

で前年同期に比し

增差（營業用）四四〇車 一、五七三瓲

減差（省用）二八八車 三、三七六瓲

で差引車數に於て一五二車の增に反し數量では一、八〇四瓲と云ふ少許の赤字を見せてゐる

關東軍參謀長は

愈々板垣少將か

眼識の的中に笑まん

泉下の軍神

川島陸相就任以來の一大人事行政として注目されてゐる來月の陸軍定期異動は愈々切迫したが、現陸軍參謀長西尾壽造中將が教育總監部本部長等に榮轉の場合に於ける後任者は陸軍省整備局長は山岡重厚中將の外既報の如く軍神大越中佐の女婿にして現關東軍參謀副長たる板垣征四郎少將の昇格説が益々有力として傳へられて居る

委員を定めて併合交涉を進む

平町の市制準備陣容

市制實施の前提たる隣接五ケ村併合に乘り出した平市制施行調查委員會總會は既報の如く昨十一日開かれたさきの部長會に於て熟議したこれが併合による稅負擔財產、負債、行政、都市計劃水道等の各種條件を基礎として種々協議を重ねた結果合併交涉に乘り出す事になり併合五ケ村（神谷、飯野內郷、平窪、好間）に對する交涉委員として一ケ村五名を擧げ愈々來る十八日の飯野、神谷を皮切に十九日平窪、內郷、二十日好間の日割りで本格的折衝に出づる事になつた

滿を持す各委員

直に準備に着手すべく

對策完く成る

前記合併問題は過般數次に亘る交涉により平窪、飯野、神谷の三ケ村は殆ど全村合併の方針で交涉を開始するもの丶如く、尙委員間の意向としては前記五ケ村中一ケ村でも合併交涉が成立した場合は直に市制實施の準備に着手すると云つてゐる

尙交涉委員左の如し

（神谷）井上 鈴木 酒井 堀（飯野）關內 根本品 吉田五 猪狩（平窪）野崎 馬目雅 多田井 佐

々木（內郷）荻原 川崎 花澤 吉田寅（好間）坂本 小野 高橋 荒川

平署管內消防檢閲

施行日割決る

平署管內二十ケ消防組の秋季檢閲日割は左の如く決定何れも小學校グランド

三坂十一月二十五日中三坂 澤渡二十六日 豊間二十六日 鹿島同日 永戸二十七日合戸 箕輪二十八日高野 夏井二十八日 平窪二十九日 湯本十二月一日舊校舍 內郷同日高坂グランド 磐崎一日 石名同日宇南町 赤井、上、下小川五日第二小學校 好間八日 玉川三日 神谷十日 高久十二日 飯野未定

縣下に範を示す

錦村經濟更生調查

斷然十六ケ村の選に入る

本縣經濟更生運動が具体化して第四年度を迎へ各指定町村は何れも歷然たる事績を示してゐるが、今回更に實績の向上を期するために指定町村百二十ケ町村中優良更生村十六ケ村を選び實績及び實行方法を調查し他町村の模範とすることになつた、選ばれた優良町村中本郡では錦村一ケ村で今月末までに兩方面の調查を完了する豫定であると

るが今十二日縣社會事業協會囑託小野長太郎氏が出張町會議堂でこれが中間指導を行つた

納稅デー

實施協議

石城並に双、相二郡の稅務主任會は來る十七日午前十時から平第三小學校に開き來る二十三日から三日間の納稅デーに關し協議する

米價稍落調

新米出廻から

きのふの共販成績

昨十一日行はれた石城販聯の俵米定期共販出荷は拂底の古米のみ四十俵、相場は平十一圓二十六錢、錦十一圓十錢で前回の平均相場十一圓二十五錢に比し新米の出廻りから平均七錢の安値古米出廻りはこれを以て最後だらうと云はれてゐる

・・・・平理髮幹部會・・・・

平理髮業組合幹部會を今十二日午前十時から平署會議室に開き明年度總會其他雜件を附議した

被服縫製

ふけ中間指導

平職業紹介斡旋の東北凶作地救濟陸軍被服縫製は開始以來既に千着を了し現在の縫製者二十一名に上つてゐ

川前農產入賞決定

川前村農會主催の農產物品評會を此程開いた出品百五十餘點、入賞優良品左の如し

（一等）根深一本太葱河西秀治 練馬長尻大根同人 牛蒡白石慶治 小豆吉成かや 大豆志賀四郎 包頭連白菜田中直 二、三等略

・・・・・入山競技會

入山炭鑛從業員陸上競技大會は十七日午前十時から同鑛グラウンドで開く

移出四十六車

成績良好だつた

今年の石城梨子

郡農會斡旋による石城梨子の共同出荷は去る九月下旬から開始、過般再度に亘る風水害の關係から近年にない不作である蜂屋柿を補ふべく農會でも移出の主力をこれに傾注してゐたが最近終末に入つた

今年の出荷は內鄕、好間赤井、平窪、上小川方面からで總數四十六車（一萬二千六百五十八箱）これが賣上總額は一萬八千六百六十八圓に上り、昨年物に比し品質もよいので出荷車數は三倍以上にも上つて居り相場も昨年より一箱廿五錢乃至廿八錢高で相當受けが良つた

感心な小學生四君

防火宣傳に援助し

消防からほめらる

小名濱小學校高二年生中都淑雄、長瀨弘平、富田友治橋本光雄の四君は縣下一齊に行れた去る五日の防火デー當日夫々これが宣傳ポスターを作製管內要所に掲出して活動の援助をなしたので組頭以下少からず感謝、此程四君に對し水彩畫一式を消防組から贈つた

平、湯本の兩紹介所が

凶作娘の身賣り防止

機構の整正と資金の增大に

昨年（六十名）以上の成績を期待さる

平、湯本兩職業紹介所では昨年來、凶作に祟られた農村子女の身賣り防止に關し資金二千六百六十五圓を貸付け危い轉機に立つた六十名（平二七名一、四〇〇圓湯本三三名二、二六五圓）を淪落の一步前から救つたが

今年の凶作騷ぎは昨年より一層深刻なるものあるので引續き不幸な婦女子等に温い救ひの手を延べる事になり今回開かれた連絡町村との打合會にも少額の貸付けで最も效果的の成績を擧ぐべく身賣の早期發見、實情精查、資金回收等につき種々熟議する處あつた內務省社會局でも前後の實狀に鑑み新たに資金約二十萬圓を集めて活動の圓滑を圖る事に決定し、これにより更にがの範圍が擴大されるので紹介所でも少からず乘氣になつてゐる

小玉橋復舊

赤井村

大字高萩より同村西小川に通ずる小玉橋は過般の水害により破壞したので同村消防第二部並に第四部組員約八十名が昨十一日より出動架設の奉仕工事中

町村長支會から

鮫川橋架換陳情

今後の成行き刮目さる

昭和人絹會社の建設により最近とみに交通頻繁を來してゐるにも拘らず腐朽甚しい植田町—錦村間鮫川橋の改修促進に關しては最近關係各方面から縣當局に猛運動を試みてゐるに鑑み石城町村長支會でも過般の總會で同橋の改修は地方開發上甚大なる關係を有するものとの意向が纏まり青沼支會長の名で左記陳情書を伊藤縣知事宛提出これが實現に努むる事になつた

國道六號線鮫川橋は腐朽甚しく交通に危險を感じ是れが架換の儀は多年の懸案に有之候處近年殊に損傷甚しく此儘に放置せんか大事に至るも計り難く候、由來鮫川橋は鮫川を橫斷する唯一の交通路にして是れを斷んか國道六號線の交通は直に杜斷せられ一日五千を算する交通に一大支障を來すべく地方民の不便想像に餘り有候、況や錦村人絹工場通行三百の自動車は全く其の通路を斷たるゝに於てをや、殊に當地方は霖雨冷害に依る稻作の被害著しく昨年に打續く凶作のため飯米にも窮するの實狀にて收穫後に適當の職を與ふるに非ざれば深刻なる窮乏に陷り救ふべからざるの狀態に有之候、されば凶作對策を兼ね是非昭和十一年度豫算に計上される本橋架換工事御施行相成候樣特別の御詮議相仰度本郡町村長總會の決議を經て此段陳情仕候

福島書道展入選者

郡下五校から四十二名

福島書道振興會主催で愈々十六、十七の兩日福島公會堂で第七回書道展を展開催することになつたが十日成蹊女學校にて審查會を開き午後十時審查終了、嚴選鑑別し總出品點三千五百五十七點中入賞者五百六十名を發表した、尚ほ十七日午後一時より授與式を擧行すると、郡下關係次の如し

▲平第二校 鈴木智惠子 同靜 酒井良子 大嶺悦子 大和田きよ子 佐藤久子 石井美智子 蛭田仲子 五十嵐澄子 田卷隆 鈴木省子 宮川幸子 弟子丸はま子

▲內郷校 大和田くに子 同千惠子 鈴木茂 三浦つね 千田はつ 鈴木甲子男 片桐兵三

▲湯本校 馬目妻子 小泉富美子 新妻絹子 平子守一 渡邊さだ

▲勿來校 郡司忠男 土田英雄 渡邊あさい 小林良吉 佐藤喜代松 青木貴代 寺澤とく

▲神谷校 井上靖 須藤みさ子 同ひさ子 平田勳 片寄正男 澤田壽一 伊藤慶子 遠藤京子 矢萩宗義

第三校前通學道路改修

地元寄附も纏つて

來る十五日着工協議

平町立町地內より第三小學校前に通ずる道路（延長九十二間）は同校建築から通學兒童の雜沓を呈してゐるに拘らず幅員僅か一間餘に過ぎぬ狹隘振りに從來少らず惱されてゐたが此程地元負擔千圓も纏つたので愈々幅員三間の擴張改修を行ふ事になり町では來る十五日午後一時から土木委員會を開きこれが潰地、家屋移轉交涉に關し協議する

とこ春の電氣コタツ

冬を朗かに――ご

東部電力で昨日から勸誘

東部電力株式會社平營業所では昨冬好評を博した便利で危險もなく且つ經濟的な三菱電氣コタツを今年も昨十一日から二十五日迄二十五日間を勸誘期日として各方面の需めに應じてゐる

この電氣コタツは行火や湯たんぽの代用には六十ワット、各家庭の置炬燵には二百ワット、子澤山の家庭には三百ワット、特に大きなコタツを必要な家庭には四百ワットが適當してゐる

尙無料試驗を行ひ期間中の申込みには幾多の特典がある、特價器具代金左の如し

六十ワット四圓 二百ワット六圓三十錢 三百ワット六圓三十錢 九百ワット九圓

箱師か？

昨夕驛前の捕り物

昨十一日午後四時頃平驛前を徘徊する擧動不審の男を平署員が調べると、右は東京市赤坂區中野町三丁目生れ瀧口一己（三七）で去る八月末强盜未遂で懲役三年の刑を終へ巢鴨刑務所を出獄後茨城縣土浦町と相馬郡中村町の鬪荒し廻り泉驛前カフエー藤井方から現金十餘圓を窃取した外三十件の現金泥を自白最近常磐線を荒し廻つてゐた箱師も此奴の仕業でないかと目下追究中

・・・・消防施設視察・・・・

平町消防幹部と警備委員は三十日から二泊三日の豫定で靜岡縣下橫濱警視廳管內の消防施設を視察

・・・・永戸診療所落成・・・・

十一日午前十時から竣功式擧行

柏木刑事榮轉を惜まる

今回の警察官小異動により平署から二本松に榮轉の刑事柏木萬吉氏は來る十六日午前十一時十分磐越東線で赴任する

同氏は平署在勤三年三ケ月、敏腕探偵として知られてゐたもので今回の榮轉を惜しまれてゐると

・・正誤

昨紙月曜論壇中「事し思ひ半ば」は「蓋し…」の末行「得ある處つて」は「得る處あつて」の何れも誤植

諸判定應需

東京市本郷區湯島四丁目五番地

高島易斷總本部 神誠館

舊十月十八日 水曜 癸巳 先負 破 軫宿 新十一月十三日

▲一白 困難に遭ぐうするも屈せず勉むれば功を奏す▲二黑 不安のけい向を呈する日定業を勤めばとがなし▲三碧 福祉は一家に滿ち大に繁榮を呈す勇むべし▲四綠 熟慮して誤りし事も期待通りに運び難き日▲五黃 [illegible]を扱ひ活達に過ぎ進退の誤ることあり▲六白 前途の見通しを附けて進まざれば後悔あり▲七赤 我意を通さず識者の言に從へば過ちなき日▲八白 投機的の計畫は大凶忠實に本業を守るべし▲九紫 奮勵努力すれば名利共に擧ろべし怪我注意

十三日（小名濱測候所調查）

日出 六、〇九 月出後 六、四〇

日沒 四、三三 月沒前 八、四九

滿潮 前六、二〇 後四、二五

干潮 前五、一〇 後一一、〇五

贈答物に
鰹魚節
御値段ハ御相談ノ上如何程にても御自由です。
日華生命保險株式會社平代理店
宍戸屋商店
平町四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

丸善製品
定評有る大塚の靴
◎女學生靴 新製品（目下大流行）スポーツ型 三ツハトメ 五、五〇
△月星ゴム長靴 七文より十一半まで
△ゴム半長靴……入荷
△將校ゴム長靴……入荷
冬のアンダーシャツ 七〇より
純毛スエター 二、五〇より
新型チャンバー 三、〇〇より
同トレーニングパンツ類
防寒スキー靴下及びボーシ
田町の 大塚へ
電話七十七番

東部電力冬のサービス
御年寄孝養の爲め
御子様保育の爲め
◉便利で危險の無い!!
◉衞生的で經濟的な!!
弊社は日頃の御愛顧に酬ゆる爲め無料で試驗と手入の大奉仕を開始致しましたから伺出の電工に御遠慮なく御申付下さい。期間中の御申込には特典がありますから御早く御申込の程御願申上ます
昭和十年十一月
東部電力株式會社 郡山支店

お寒くなりました。冷え性のお方はサゾお困りでございませう。
宮溫湯（アタタメグスリ） 召し上ると救はれます。お身體のお弱い御婦人、冷え性の御方、下腹や腰等引きつり痛む方、子宮のお惡い方、なが血、白血でお困りの方、月經時に痛みを覺える方、子寶のほしい方是非御試し下さい。
日の出に蝶印藥
一手販賣 平町古鍛冶町一〇縣社の下
阿康藥局
電話四四番 振替口座東京三〇六五番